

安 七十五期 葉書との同級会

▼心配を掛けた私の慢性腎不全は食事療法で何とか透析に至らずに済んでいる。病にピリピリしては老けてしまう
とベトナム・ハノイに住む**今川直人**を訪問した。▼滞在中は空
港出迎えから全日世話になり、
ハロン湾ツアーも行った。そし
て彼が日本語を教える学校に
も行きその様子も見て来た。▼
周りに同郷人も居ないせい
か、彼との会話は弾み、中で面白
かったのは、全農勤務時代、郡山
出身のJA全中会長**佐藤喜春**
に可愛がられ秘書兼通訳をし
ていた。佐藤が郡山弁で語る

「にしゃら、かすかだつてんで
ねえ」。全国の県連農協会長は
今川に「？」と尋ねる。それを
「君達、下らない事言うな」と
通訳した。▼次いで、**本名徹次**
ベトナム国立交響楽団音楽監
督と会食をした。彼は安積高に
入学、その後芸大附属高に転校
したとの事。▼帰り掛け今川か
ら豆新聞を催促され葉書代を
頂いた。▼祝賀会前日、岩手桑
野会会長に就任し祝賀会出席
の**渡部航志郎**を囲んで、安歴博
再構想委員長として手腕を振
るつた**熊田喜宣**、須賀川の**国分**
洋、それと私でミニ宴会開催
昔話に花が咲いた。補修科時
代、航志郎は盲腸炎になり叔父
の産婦人科に入院し、私は足繁

く見舞いに行った。手術当日は
下腹部を剃られ裸のまま手術
台に乗せられた。男の患者を珍
しがる中、婦長さんがたまりか
ね、ガーゼを掛けてくれた、と
皆を笑わせた。▼翌六日下村文
部科学相を主賓に迎えての安
積高校百二十周年記念式典。十
一時から復元教室を使って文
科大臣と高校生の対話集会を
した。▼十二時。百二十周年に
相乗りして進めた安歴博再オ
ープンセレモニー。**山口勇**理事
長、**久保田範夫**学校長八八期他
主賓でテープカットをした。**熊**
田喜宣には彼が手がけたギャ
ラリーを活用して五年前と同
様にOB美術展を開催して貰
った。▼オープンに先立つ事一

ヶ月前、私の呼び掛けにより講
堂設置の念願のグラウンドピア
ノを借受けた。大熊町からの原
発被災者Kさんが安歴博への
貸与を申し出て下さった。運搬
費用、調律はこちら持ち。はた
して原発被災ピアノが使える
かは賭けだった。▼ピアノはネ
ズミの巣となりハンマーは食
いちぎられ、何よりピアノの中
は糞だらけ、コンプレッサーで
糞を吹き飛ばし、掃除機で吸い
上げ何とか調律にこぎ着けた。
数日後Kさんは嬉し泣きしな
がらピアノを弾いた▼オープ
ンの当日、安歴博再開セレモニ
ーにはなんとフランス在住の
ピアニスト**向山良作**九六期が
演奏、オープンに花を添えた。